

# デジタル表現 論・自習

第8回：  
HTML とスタイルシート

劉 雪峰

復習：

- ホームページの公開方法

本日の目標

- スタイルシート ( Stylesheet ) の使用

## ○エンコードの設定

次のコードを <head></head> の間に入れる。  
HTML ファイルを保存する時エンコードを確認しなさい。

```
<head>  
...  
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=shift-jis">  
</head>
```

他のエンコード : utf-8, euc

## ○イメージのサイズの調整

width, height などの property を使って、イメージのサイズの調整ができる。

```

```

# 箇条

- 内容をリストで表現する時、以下のタグを使用する。
  - `<ul></ul>`: 順番なし
  - `<ol></ol>`: 順番付き
  - リストの中の各項目は `<li></li>` タグを使用する。

数学科の授業のリスト

```
<ul>
<li> 線形代数 </li>
<li> 微分積分 </li>
</ul>
```

HTML



数学科の授業のリスト

- 線形代数
- 微分積分

表示の結果

HINT: `<ol> </ol>` に置き換えて、結果を確認しましょう。

# 文字の色とサイズ

- 色を設定

`<font color="#446622">文字 </font>`

ここで「#446622」は色の三原色の各成分 R,G,B の値 (16進数) です。

- サイズを設定

`<font color="#446622" size=5 >文字 </font>`

# 演習：授業リストの作成

復習：ホームページの公開方法

- FileZilla を使って、ホームページのファイルを計算機にダウンロードする。
  - ファイルのエンコードを設定する。
  - ホームページの中のイメージを適当なサイズに調整する。
  - 箇条を使って、今現在履修している授業のリストを作る。  
( 箇条の使い方は次のページに参考しなさい。 )
- ホームページをサーバーにアップロードする。

# HTML と Stylesheet とは

- HTML の本文の表現ルールを Stylesheet によって定義することができる。
- 端末の種類によって、本文を適当な形で表現することができる。
- 本文と表現ルールを分離して、効率てきな作業ができる。
  - 本文の作業とスタイルシートの開発を独立にすることができる。
- CSS は Cascading Style Sheets の略としてよく使用される。

# 簡単な HTML と Stylesheet の例

```
<html>
<head> <title> Home page </title> </head>
<body>
<h1 style="color:#FF0000; font-size:10px" >
  This is my home page.
</h1>
</body>
</html>
```

説明：

各要素のタグに「**style="..."**」を使って、当該要素の色、フォントサイズなどを細かく設定することができる。



# Style の指定する方法

Style の指定は幾つかの方法がある。

1) 各タグの中で直接設定する。

```
<p style="color:#0000FF"> ... </p>
```

2) <head></head> の中で指定する。

```
<head>  
...  
<style type="text/css">  
  h1 { color: #0000FF; font-size:15px; }  
  h2 { color: #0000FF; font-size:10px; }  
</style>  
</head>
```

# Style の指定する方法

3) Style の設定を独立なファイルに保存して、html ファイルの中で、スタイルファイルを link する。

```
<head>  
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="mystyle.css">  
</head>
```

ファイル mystyle.css の中身 :

```
h1 { color: #0000FF; font-size:15px; }  
h2 { color: #0000FF; font-size:10px; }
```

- この授業では、方法 1 ) と 2 ) を使用する。

# スタイルのセレクト

各要素を異なる style で設定する場合、class を利用して、スタイルをセレクトすることができる。

手順：

- class はタグの中に指定する。class の名前は自由にする。

```
<p class="red_paragraph"> … </p>
```

```
<p class="blue_paragraph"> … </p>
```

- <head></head> の中では、2 つの class を定義する。

```
<style type="text/css">
```

```
  .red_paragraph { color: red; }
```

```
  .blue_paragraph {color:blue;}
```

```
</style>
```

# スタイルの属性

- スタイルを使って、フォントのスタイル、位置揃え、境界線、背景色などの属性を設定できる。

例

- `border: 5px solid #FF0000;`

要素の枠のサイズを 5px にする。枠は赤色の実線で描く。

- `margin: 10px 15px 20px 25px;`

要素の上、右、下、左の余白をそれぞれ 10px, 15px, 20px, 25px にする。

- `padding: 10px 20px 30px 40px;`

要素のコンテキストが要素の上、右、下、左の枠までの距離をそれぞれ 10px, 20px, 30px, 40px にする。

- `width:600px; height: 100px;`

要素の幅を 600px、高さを 100px にする。

# スタイルの属性

- Stylesheet はたくさんの属性を用意している。
- Google 検索で「html stylesheet」で探して見よう。

参考例：<http://www.kanzaki.com/docs/html/htminfo17-2.html>

## 演習：

- 授業のホームページから style-test.html をダウンロードして、style を調整して見よう。

## レポート課題：

- スタイルシートを利用することで、各自のホームページをきれいにしなさい。
- 授業中に教えたスタイルの属性に限らない、他の属性も自由に使ってください。